

伊那民報

発行：日本共産党伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
HP：jcp上伊那

「9条の会」急いで作り、反撃を

日本を戦争する国にさせないために

9条の会伊那市連絡会がよびかけ

9条の会伊那市連絡会は、5月25日、伊那、高遠、手良、西箕輪、東春近、美簗地区の代表が集まり、当面の重点活動について話し合いました。

「会」は、安倍政権が憲法を踏みにじり「海外で戦争できる国づくり」を急いでいるもどで、平和憲法を守り、再び、国民が戦場で殺し合いをするのではないよう、取り組みを強めるために、①市内



「連絡会」は宣伝カーでアピールを開始

全域に9条の会をつくる。知人などに声をかけ「集い」をもち、平和を守る運動を広げる。②安倍政権の軍国主義の復活への暴走を食い止

めるため、宣伝カーなど音の宣伝、署名・対話、会員増やし等の行動に全力をあげる。③「会」の事務局員を複数にし、世代継承をすすめる。ことを決めました。

6月には、宣伝カーで「集団的自衛権行使容認反対」を市民に呼びかけました。この行動に「がん



県知事予定候補野口しゅんぼう氏、力強く訴え

8月10日投票の県知事選挙に野口しゅんぼうさんが立候補を表明し、各地で対話集会が行われています。6月12日には駒ヶ根と箕輪の「県政を考える対話集会」に約100人が参加しました。

野口しゅんぼう予定候補は、①浅川ダム建設など県費の無駄

ばれ」の声や、手を振るなどの激励が寄せられました。また、署名活動にも各地で取り組んでいます。

地区の9条の会では、東春近で6月29日午後1時半、ふれあい館で、すいとんを食べながら、「満蒙開拓の真実」(DVD)の視聴や戦争体験者の話を聞く集いを。美簗の準備会では、7月6日に数年ぶりの学習会を予定。手良は、8月24日に演説会を予定し取り組みが強められています。

「会」は、多くの地域で9条の会を立ち上げ、市の連絡会に参加し、力を合わせ安倍政権の暴走をくい止めることをよびかけます。(市連絡会事務局長 横田美男)

遣いが多い。五十年、百年を見通した政策が必要②福井地裁の大飯原発判決を引用し「人格権」「県富」を守り県民の命と暮らしを守る事が県知事の役目③30年の研究の経験を生かし、無節操な政治的野合県政から憲法を暮らしに生かした県政に改革すると力強く訴えました。

9条をはじめ、憲法がないがしろにされている今こそ出番です。

地蜂

野口しゅんぼうさんの対話集会に参加した。県の借金は1兆7千億円で阿部知事になって一層増え続けている。野口さんは

田中県政の県公共事業評価監視委員長として、生態系を活用した災害対策で目先のことでなく50年100年を見通した施策をと結論付けた▼子供の医療費窓口無料化はすでに37都府県で実施しているようだ。現在は医者にかかったら一旦は払わなければならぬ。障がい者には生活費も厳しい中で医療費の支払いがきびしい▼野口氏は大飯原発再稼働禁止判決に感動したという。健康で文化的に暮らせる「人格権」、原油輸入などで貿易収支が赤字になっても国土に定着して安心して暮らせることこそ「国富」、そして「県富」を守るのが知事の仕事だと。TPP、原発、消費税容認の知事では「県富」は守れない。原発事故で故郷を追われるようでは県富に反すると▼地すべり地帯にできる浅川ダム、4人家族で340万円の県の借金、これらを引き継ぐ青年は非正規社員。これでは夢も失せてしまう。安心して子育てができる医療、教育のシステムがあつてこそ子孫繁栄。そして憲法を生かした県政実現に、野口しゅんぼう知事誕生に力を合わせましょう。(E・K)

市民との共同を強化へ 市議会報告

市会議員 飯島光豊

伊那市議会は6月2日に開会し、条例・予算案件など8件、市民からの請願・陳情が5件、議員提出議案の6件が審議・採択、20日に閉会しました。

特に問題となった条例案件は、「市条例の一部を改正する条例」で、市民の軽自動車税を1.25倍にするものです。

日本共産党伊那市議団は、「自動車業界の要望に添うもので、そのツケを軽自動車税の増税でまかなうことは、市民に消費税増税に加えての二重の負担をおしつけるもの」として強く反対しました。

市民からの請願・陳情では、とりわけ集団的自衛権の解釈改憲に反対する請願・陳情が4件も寄せられました。これは市民の中に安倍政権が狙う「戦争する国」への暴走政治に不安と怒りが大きく高まっているあらわれです。

党市議団は解釈改憲に反対する立場を鮮明にした請願・陳情を採択するよう強く求めましたが、保守系と公明党の議員は、「趣旨採択」とどめ「慎重な検討を求める意見書」を提出しました。これ

に対して党市議団は議員提出議案として、「集団的自衛権の行使は憲法上許されない」とする政府見解の堅持を求める意見書」を提出しました。賛成6人、反対14人で否決となりました。

全国100を越す市町村が、安倍政権が狙う憲法解釈変更に対し反対の意見書を可決している中で、この結果に、市民と市議会の一一致した取り組みとたたかいが求められていることを痛感しました。

なお、党市委員会は、市議会報告会を7月13日(日)午後2時、上新田公民館で開催します。



第54回上伊那母親大会が6月15日、南箕輪村民センターで開かれました。子育て中の母親や医療・学校の関係者など約200人が参加。「子どもと教育」「くらしと介護・医療」「憲法・原発」「絵手紙」の4つの分科会と記念講演で、女性を取り巻くさまざまな問題が出され理解が深められました。

記念講演は、はじめに「『物語られるいのち』から延命治療を考える」とのテーマで医療生協職員による朗読劇に続いて、医療生協病院付属診療所所長の福富みずほ医師が、看取りを体験した症例などスライドも活用し紹介、加齢や疾病などで意思決定ができなくなる前に、自分の治療方法や延命措置について話し合っておくことが重要だと話しました。

第54回上伊那母親大会開かる

「憲法を壊す『集団的自衛権』容認に反対する」特別決議を採択。国、県内の政党や首長、諸団体に送付しました。

参加者からは「上伊那の医療や介護施設が大きく発展していることに喜びと期待を感じた」「最期は講演にあった医療や介護を是非受けたい」「憲法を壊し戦争など許せない」などの感想や意見が寄せられました。

絵手紙は、東北の被災地に送られます。

近年にない多くの参加者があり、元気が出ました。

代表 山崎 桂子



被災地支援に岩手へ行ってきました

高遠 大場美広

今月6日～8日、北原有、黒田歩、妻の保子と私で、釜石市と大槌町へ行って来ました。配ったお米は誰からも手を合わせるように感謝されました。仮設の集居室で開いた、「お茶っこ」では、津波

で旦那さんを亡くされた方が「お父さんはハワイ旅行に行っている。そう思うことにした。」と言うのを聴き、皆さん気丈にされているけど深い悲しみを乗り越えようとしていることを強く感じました。

太陽光発電裁判 原告和解を提案、土生田さん反訴

西春近細ヶ谷の大規模太陽

光発電所の建設をめぐり、片桐建設（伊那市福島）が「不当な反対運動によって計画が縮小した」と、住民の土生田さんに対し損害賠償を求めた裁判の第二回口頭弁論が18日、地裁伊那支部であり、約50人が傍聴に駆けつけました。

原告の片桐建設が、土生田

さんが根拠のない情報を流し、建設反対運動を起こし同社に2億5千万円の損害を与えたとして、損害賠償と名誉棄損の慰謝料として6千万円の支

払いを求めているものです。

18日は、原告側が土生田さんに行き過ぎた行動に謝罪を要求し和解を提案。これに土生田さんと木島弁護士は「住民を封じこめ、個人を狙った恫喝」と反論し、不当な裁判で精神的な苦痛を受けたとして反訴することを明かしました。次回裁判は8月20日。

「環境守れ」と住民結束

6月1日に行われた細ヶ谷見学会と交流会には40人余が

参加。住民からは「家の近くに240枚ものパネルが並べられ、太陽の反射で眩しくなった」「元の環境に戻してほしい」「雨で水害や地すべりが心配」「土生田さん一人の問題ではない」などの発言が相次ぎました。これからも、地元住民を中心にした運動や対策を強めたいとして支援を呼びかけています。



6/1見学会には多くの人参加

日本共産党を大きく強く 「躍進月間」にご協力ください

日頃の日本共産党へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。いま、日本共産党は7月末まで「党創立92周年・いつせい地方選挙勝利をめざす躍進月間」にとりくんでいます。軍国日本をめざし暴走する安倍政権は、消費税増税、年金の引き下げ、法人税引き下げ、原発再稼働、労働者派遣法の改悪、医療・介護切捨てなど国民生活を壊す政治を進めています。日本共産党は、安倍内閣の暴走をくい止めるため、国会内外で全力を挙げていますが、力が足りません。共産党の力を強めるために、しんぶん赤旗日刊紙、日曜版の購読者を増やし、紹介をしてください。また、日本共産党に加入していただき、力を発揮していただくことを心からお願い申し上げます。

2014年6月28日

日本共産党上伊那地区委員会

70 & ぷろ

写真は記録性

建石繁明 へ3

日本人の趣味の第一は釣り、第二は写真撮影（カメラ）と言われています。日本人の写真好きは世界一かも知れません。

親が亡くなって、一番先に整理されるものがアルバムです。団地の引越しをした跡に捨てられて、雨曝しになっていくアルバムをよく見ることがあります。その人が生きてきた歴史を記録した写真を保存することは、現実問題としては著しく困難な課題を解決しなければなりません。

それでも写真はたまる一方で負の財産の最たるものとなつていきます。写真の効用とは何だ!!と開き直つて考えてみると、それは、やはり記録性にあるように思います。現在の写真は、必ずしも真を写しているとは言えない側面があり、戦争遂行のためのプロパガンダ用の写真などは「やらせ」によって撮られ利用されてきた歴史があります。

政治的意図により作られるような写真は、私たちの撮る写真とは無関係のようにも思われますが、写真を見る人の心によって隠された真実を読み解く可能性を否定することはできません。

災害によってダメージを受けた建築物や、流された橋、壊れた護岸工事の跡を調べて見ると、手抜き工事などが多々あることが証明され、災害に見舞われる不幸がなければ、手抜きも暴き出されなかったでしょうが？。やはり、写真の最大の機能は記録性にあり、一枚の新発見写真によっても、歴史見直しの契機になる可能性があると思います。

聞き書き

戦争のない平和な世の中がいいねえ

東春近 飯島勝子さん（92歳）

西春近に生まれ、今年92歳になる飯島勝子さんは、飯島光豊市会議員のお母さん。昭和17年、20歳の時に東春近村の飯島家に嫁いで72年。この間、悲惨な戦争と終戦後の激動の時代に耐え、昭和45年に夫の貞雄さんを農業事故で失い、家庭と農業を必死で守ってきました。

貞雄さんは昭和12年に戦争で負傷し復員、頭の中に弾丸の破片が入ったままだったとのこと。近親者3名も戦死したそうです。昭和8年の2・4事件（長野県教員赤化事件）の時、通学していた春近小学校（現西春近北小）でも先生の一人が警察に連行され、父兄や生徒にも動揺が広がりました。「アカは恐ろしいもの」と思ったそうです。また、戦時中、東春近小学校の体育館に、朝鮮から連行された約百名の農耕隊が宿泊し、木裏原と原新田の開墾をさせられ、自宅前の道を、隊列を組んで歩いていたが、食糧不足で飢えていたのか「家のまだ青いリンゴをとって食べていた」といいます。

お元気の秘訣は「無理をしないこと」。楽しみは畑仕事で、野菜作りが大好き。またミニデイサービスで仲間と話すのも、赤旗新聞を読むのも楽しいといっています。

今、一番の願いは「戦争のない、平和で安心して暮らせる世の中、そして農業で暮らしている世の中」で、「島倉千代子じゃないけれど、地球は小さな星なのに、どうしていまだに戦争がなくならないのかねえ。人間にはちっとも進歩がないねえ」、「安倍内閣のやり方は戦争時代に逆戻りすること。うかうかしていると大変ことになるよ」と元気に話してくれました。（渡辺光博 記）

催し案内

☆ 上伊那網の目平和大行進（伊那市関係）
7月4日（金）

【長谷→高遠→伊那コース】

長谷総合支所 13:10集会 13:25発

高遠町総合支所 15:10集会 15:25発

いなっせ広場 18:00着

（中川村コースと合流）

いなっせ広場 18:00集会 18:30発

伊那北駅 19:00着（解散）

7月5日（土）

【伊那→辰野→川岸コース】

伊那北駅 8:20集会 8:35発

南箕輪村役場 9:50集会 10:05発

☆ さわやかウォーキング

7月8日（火）午前9時50分

駒ヶ根高原家族旅行村

「こぶしの湯」駐車場集合

主催 上伊那医療生協健康づくり委員会

連絡先 組合員センター（Tel79-8702）

☆ 市政報告会

7月13日（日）午後2時～

上新田公民館

主催 日本共産党伊那市委員会

問い合わせ先 72-2465（党地区委）

花・緑

オヤマリンドウ



東春近 伊藤嘉徳さん所有

☆ 「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時半

いなっせ北側広場

主催 さよなら原発上伊那の会

連絡先 医療生協組合員センター

（Tel79-8702）